

第4章 6

# ぼうさいリュックを用意しよう

さいがいがあったとき、わたしたちが生きていくためにはどんなものがひつようでしょうか。

## 1 何がひつようか考えよう

しんさいがおこると、あたりまえの生活ができない日々がつづきます。ぜったいにひつようなものや、あるとやくに立つものを考えましょう。



あとはどんなものがひつようかな？



からだをうごかすエネルギーをつくるため、水と食べものがひつようです。たすけをまつ場合には、パンやごはん（あまいおかしなど）を食べて、さむいときは毛ふにくるまってあたたかくしてまきましょう。



## 2 わが家のぼうさいリュックを用意しよう

もしもにそなえて、ひつようなものを持ち出せるように、ぼうさいリュックを用意しておきましょう。

自分の家のリュックに入れるものを、お家の人と話し合ひましょう。

---

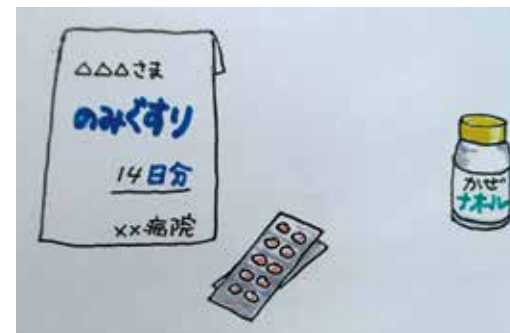


---

おき場所は



### ひつようなものをそなえよう



自分の家族にひつようなものを考えましょう。